

長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

令和2年6月20日(土) 第96号

1 しなやかに吸収！たくましく成長！



須坂市立常盤中学校

今年度は例年にはない、大変なスタートになってしまいました。今まで経験したことのない状況に、各校では対応に追われたことだと思います。そんな中で、先月、須坂市立常盤中学校の中村文成先生から、以下のようなメールが来ましたので、ご紹介いたします。

スポンジの威力

須坂市立常盤中学校 教諭・中村 文成

本校では、5月11日(月)から分散登校が始まりました。クラスの半分ずつ登校し、午前中に4時間授業をして帰ります。なんとか1時間でも多く授業を行いたいため、通常より10分早く学活を開始し、授業も5分短縮して行い、給食はなく12時30分には完全下校になります。残念ながら清掃の時間はとれません。

そこで、生徒たちが帰ってから先生方で「職員による清掃」をすることにしました。時間は決めずに、「各学年の教室や廊下、トイレを午後の都合のよい時間帯に」とだけお知らせしました。私は内心で「もしかすると掃除は後まわしになってしまうのではないか」と心配していましたが、先生方どうして「さあ、やろうか」と声をかけ合って清掃に向かう姿があり、心強く思いました。

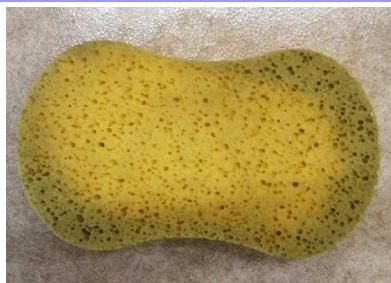
私が理科室の隣にあるトイレ掃除をしていたとき、前を通りかかったA先生が「中村先生、トイレにあるスポンジって、床掃除用ですよね？」ときいてきました。「それは便器用に置いてあるものだから、床には使わないよ」と答えました。ただ、その先生は、「でも、めっちゃ(汚れが)落ちますよ」と言い残して去っていました。

翌日、そう言えばA先生に昨日言われたことを試してみようと思い、トイレの床(タイルではない細かな凹凸があるもの)を水で濡らしたスポンジで円を描くようにこすってみると…

「おお、汚れが落ちる！」

「そして、スポンジが汚れを吸い取っているのがわかる！！」

驚きました。今まで、雑巾がけをしてから水で濡らしたタワシで凹凸に入り込んだ黒ずみを浮き上がらせ、もう一度雑巾で拭き取っていました。この方法だとタワシの毛が床に落ち、雑巾による水の吸い取りもあまりよくありませんでした。



↑汚れを吸い取ったのが
はっきりわかるスポンジ

ところがスポンジはよく水を吸い取るので、床にはそれほど水が残りません。乾いた雑巾で拭けば簡単です。なんと言っても汚れを吸い取ったスポンジが黒くなるので、やりがいがあります。バケツの水を何度も替えないといけないのですが、それはタワシと雑巾で掃除をしたときと同じです。

20日からは、分散登校は変わらないものの、給食と清掃が再開しました。さっそく1年生が掃除をしているトイレに行き、やり方を説明してスポンジを渡しました。何度かスポンジでこすったあと、スポンジをひっくり返して見た男子は、その瞬間「おお！」と声を上げました。私たちは、様々な道具や薬品を使って汚れを落とそうとします。ですが、今ある道具の可能性を探ることや、さらに生かす方法を試すことも大切なのだと思いました。

コロナ対応で、毎日モヤモヤとしたものが心の中に溜まっていくような気がします。しかし、「きれいにする」「磨く」という行為には、心をすっきりさせる効果があるのだと、改めて確信したのでした。

中村文成先生のすごいところは、「トイレにあるスポンジって床掃除用ですよね?」というA先生の言葉を柔軟に受け止めて、その翌日にはそれを「試してみよう」と思う、その「素直さ」「謙虚さ」です。私なら決めつけてしまって、試そうとしないのではないかと思います。

そもそも文成先生は、今なぜ便教会のメンバーなのかというと、私と中野市立南宮中学校で同僚だった18年前に、「クラスがしつくりこない」と悩んでいました。そのときに私が「まずは半年の間、毎日放課後に机をそろえて、黒板をキレイにして、掃除してみて。それでも何も変わらなかつたら、また何か次のことを考えるから」と助言したのですが、文成先生はそのときもそれを本当に実行しました。それは、かつて私も同じ事で悩み、放課後に教室を毎日整えたことで、クラスがかみ合ってきた経験があったからです。そして半年が経ち、ものの見事にクラスがかみ合ってきたことで、文成先生も私も「お掃除のもつ力」を確信したのでした。今思うと、この出来事が長野便教会の原点だったのだと思います。

そう考えると、文成先生の「素直さ」「謙虚さ」は今でも変わっていないのだと、とてもうれしく、頼もしく思います。そうやって文成先生は、今まで出会ってきた子どもたちや先生方からまさに「スポンジのように」多くのことを吸収してきたのだろうなあと思うのです。こうしたしなやかな姿勢を忘れてはいけないと、私自身がまた文成先生に教えられました。ありがとうございました。

「スポンジのような吸収力」といえば、我がクラスの子どもたち(5年生)もなかなかです。今夏は水泳をしない学校もあるようですが、本校はやります。そこで、先日初めてのプール掃除に臨みました。最後に床の掃除をしたのですが、デッキブラシやタワシでは水や細かい砂がしつかり取れずに苦戦していました。何かいい方法はないかなあ…「あっ!」とひらめきました。その瞬間をKさんは見ていましたね。その日の生活記録に下のように書いてきました。

今日、2時間目からプール掃除でした。最後に床の掃除をしていたときに、「これはトイレ掃除のときに床の水をとるやり方でやればいいんじゃないかな」と思っていたら、先生が「あっ!」と言って何かを取りに行ったので、「あ、タオルをとりに行ったな」と思いました。(Kさん)

Kさんは、私が気づくよりも先に気づいていたんですね。そしてみんなで下の写真のように、見事に仕上げていきました。また、Nさんは次のように生活記録を書いてきました。



今日、プール掃除をしました。最初に壁を掃除してから、排水溝、床の順番できれいにしてきました。

最後の床の水がデッキブラシで思うようにいかなかったので、先生が持ってきた新しいタオルで床の水を排水口に運びました。Mくんが「キレイになってきたね」と言って、私が「このやり方いいね」と言ったら、「そうだね」と言ってもらえて、私と同じように感じている人はいるんだと思いました。

いろいろな工夫をして、頑張って速くできるようにして、いろいろな人に頼られる人になりたいです。(Nさん)

普段のお掃除で培った力を遺憾なく発揮した子どもたち。リモート学習では学べない学びが、学校にはありますね。今回の休校の経験もしなやかに吸収し、たくましく成長してほしいです。

2 お知らせ

○小布施掃除に学ぶ会・月例会→毎月第2日曜朝6時~8時30分(5:45にはご集合ください)

6月13日(土)、4ヶ月ぶりの月例会を栗ガ丘小学校の草取りで再開しました!来月は11日です。

○第13回長野県中学校清掃サミット→令和3年7月(開催期日未定です。決まりましたら、お知らせいたします)

残念ですが、今年度は開催を見送ります。来年度、2年分の思いを込めて開催したいと思います。

全国的に学校が再開されましたが、手探りの日々が続きます。課題山積ですが、前進あるのみですね。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(山ノ内町立南小学校教諭)

携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp

小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>